

ISO/TC 68 活動報告書 (2023 年度)

1. ISO/TC 68 の組織・概要
 2. ISO/TC 68 の審議体制と国内リエゾン関係、ISO 20022 RMG
 3. ISO/TC 68 の標準一覧
 4. 投票案件回答状況
 5. ISO/TC 68 関連国際会議、国内委員会の開催状況
- 参考. ISO/TC 68 国内委員会 会員一覧

ISO/TC 68 国内委員会事務局

連絡先：日本銀行決済機構局決済システム課
情報技術標準化グループ

〒103-8660 中央区日本橋本石町 2-1-1

Tel: 03-3277-2150

Tel: 03-3277-1483

Fax: 03-3548-2317

E-mail: iso-tc68@boj.or.jp

ISO/TC 68国内委員会について

[ISO/TC 68の組織・概要](#)

[ISO \(International Organization for Standardization\)](#)

[TC 68 \(Technical Committee Financial services\)](#)

[リエゾン体制](#)

[ISO/TC 68国内委員会の組織・運営体制](#)

[規約](#)

[会員一覧](#)

[沿革](#)

ISO/TC 68の組織・概要

ISO (International Organization for Standardization)

国際標準化機構（International Organization for Standardization：ISO）は、国際標準化活動を行うために1947年に設立された非政府組織（本部：スイス・ジュネーブ）です。

ISOの会員団体（Member Body：MB）として、各国1機関の国内で最も代表的な標準化機関が参加しており、現在は167カ国が加盟しています（2021年12月末時点）。日本は経済産業省（産業技術環境局基準認証ユニット）に設置されている審議会である日本産業標準調査会（Japanese Industrial Standards Committee：JISC）が1952年に加盟しています。

総会（General Assembly：GA）は年1回開催されており、ISO運営上の戦略的目標を決定しています。また、理事会（Council）は年3回開催されており、ISOの統括組織として活動しています。中央事務局（Central Secretariat：CS）は、事務局長（Secretary-General）の指揮のもとで様々な業務を行っています。

ISOの標準化分野は多岐にわたっており、往年は「ねじ」（TC 1）や「締結用部品」（TC 2）といったモノに関する規格開発が中心でしたが、近年では「情報セキュリティマネジメントシステム（ISO/IEC 27000s）」といったモノ以外に拡大しています。これにより規格開発を行うことを目的として設置される専門委員会（Technical Committee：TC）は増加傾向にあり、「アセットマネジメント」（TC 251）や「労働安全衛生マネジメント」（TC 283）といったマネジメント関連、および「サービスエクセレンス」（TC 312）や「電子商取引におけるトランザクション保証」（TC 321）

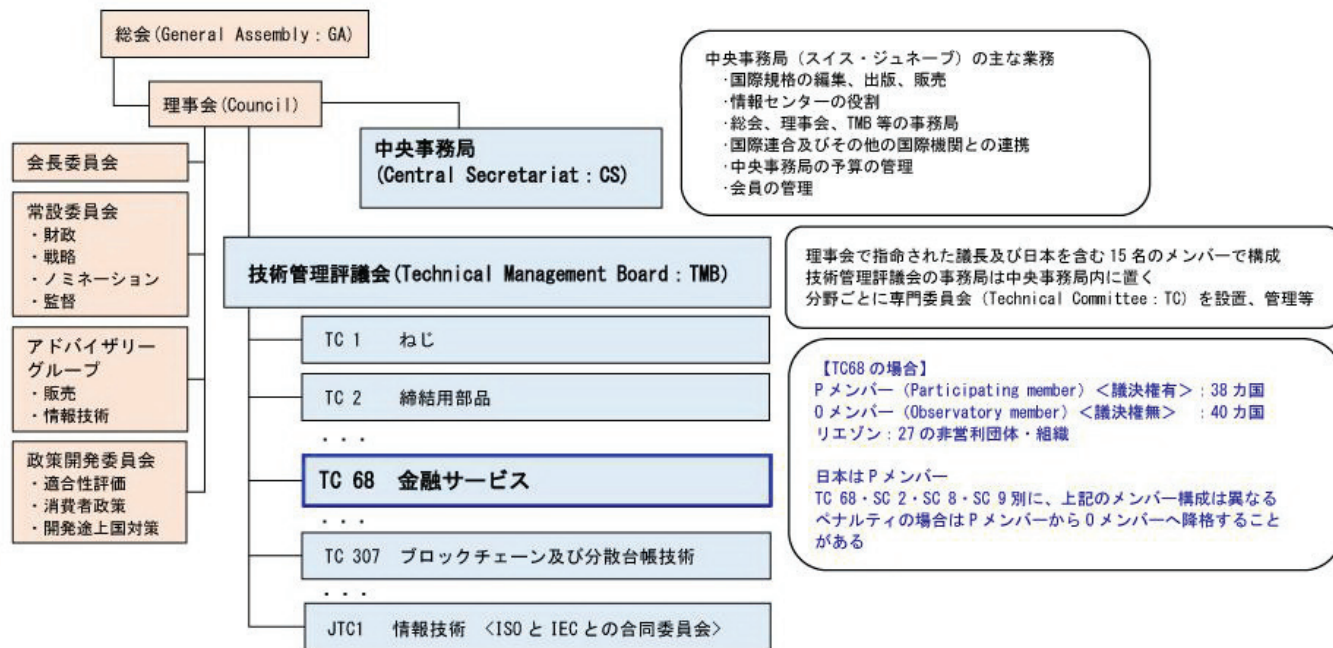
1. ISO/TC 68の組織・概要

といったサービス関連の委員会等が設置されています。そして、「金融サービス専門委員会」（TC 68）は68番目に設置されて金融情報技術の国際標準化を担当しています。

ISOの組織体制

—— 下図の情報は2024年3月時点。

詳細は  [ISO組織図](#)（外部サイトへのリンク）をご参照ください。



TC 68 (Technical Committee Financial services)

TC 68は、議長 (Chairperson)、各国審議団体 (National Standards Body : NSB) から選任された代表者、リエゾンでメンバー構成されており、事務局 (Committee Manager) が設置されています。

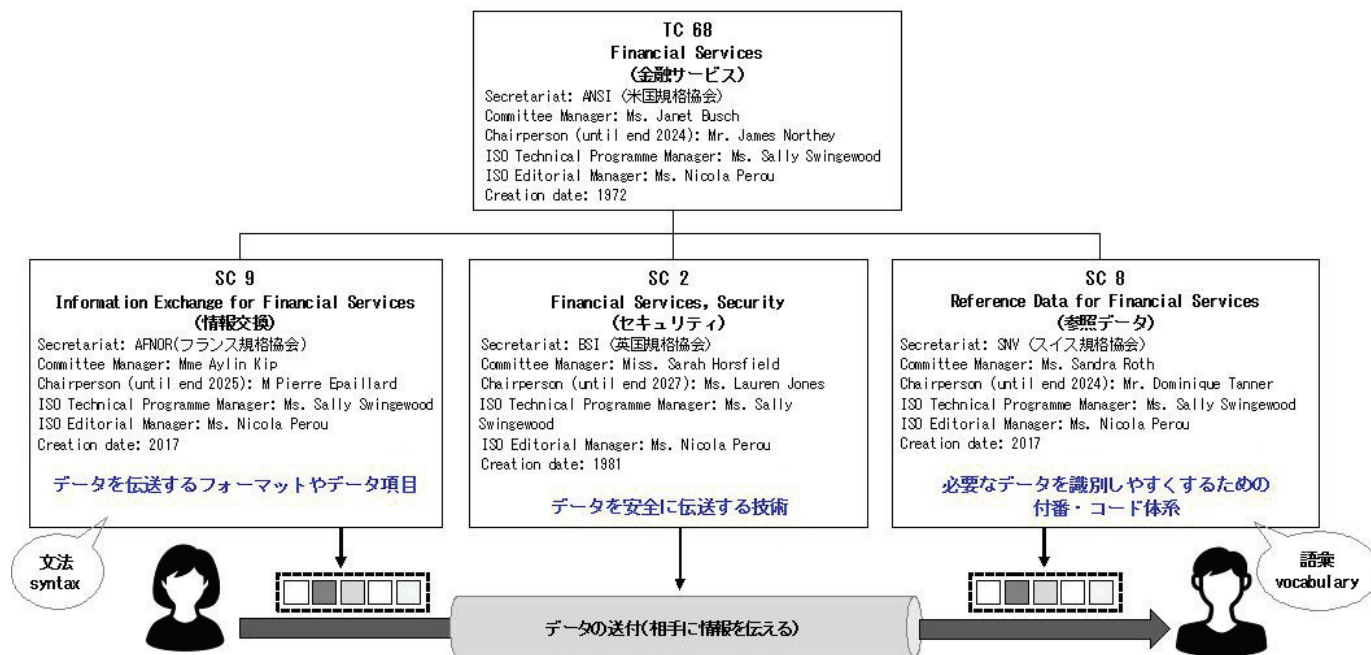
TC 68の下部組織には、TC 68議長 (Chairperson) をサポートするCAG (Strategic Leadership Group) 等のほか、3つの分科委員会 (Sub-Committee : SC) が設置されています (SC 2 : セキュリティ、SC 8 : 参照データ、SC 9 : 情報交換)。

TC 68では、上層委員会である技術管理評議会 (TMB) および他TCとの調整事項、下部組織間における調整事項、TC 68の活動領域 (Scope) に関する審議・決議 (国際投票やPlenary会合席上で実施)、規格の活用促進のための情報発信、将来のISO規格作成に向けた調査・研究等に取り組んでいます。また、各SCの議長 (Chairperson) を国際投票により選任します。

ISO/TC 68と3つの分科委員会 (Sub-Committee : SC)

1. ISO/TC 68の組織・概要

—— 下図の情報は2024年3月時点。



各SCの担当分野は、金融サービスに関するデータ交換を安全・確実に行うための基本要素別に分かれています。SC 2（セキュリティ）は暗証番号の管理、生体認証、暗号化方式等のデータを安全に伝送する技術を、SC 8（参照データ）は必要なデータを識別しやすくするための付番・コード体系を、そしてSC 9（情報交換）はデータを送信するフォーマットやデータ項目を、それぞれ担当しています。

各SCは、議長（Chairperson）、各国審議団体（National Standards Body：NSB）から選任された代表者、リエゾンでメンバー構成されており、事務局（Committee Manager）が設置されています。この各SCレベルでISO規格の立案・審議・決議（国際投票やPlenary会合席上で実施）・発行・改訂・廃止等に取り組んでいます。国際投票はPメンバー（Participating member）による決議となり、1国1票となります。このため、各国審議団体（National Standards Body：NSB）において審議・決議により見解を1つに纏めておく必要があります。

各SCの下部組織には、実際にISO規格開発を担当している作業グループ（Working Group：WG）や、ISO規格開発に向けた研究グループ（Study Group：SG）、アドバイザーグループ（Advisory Group：AG）等が設置されています。これらのグループは、国際投票で選任された主査（Convenor）をはじめ、Convenor/Secretary Support Team、各国審議団体（National Standards Body：NSB）から選任された専門家（Expert）、リエゾン、Document monitor、Technical programme managerで構成されています。主査（Convenor）は、作業計画を策定した上で会議（リモート／対面）やメール等で、メンバーと議論しコンセンサスを得ながらドキュメントの作成

1. ISO/TC 68の組織・概要

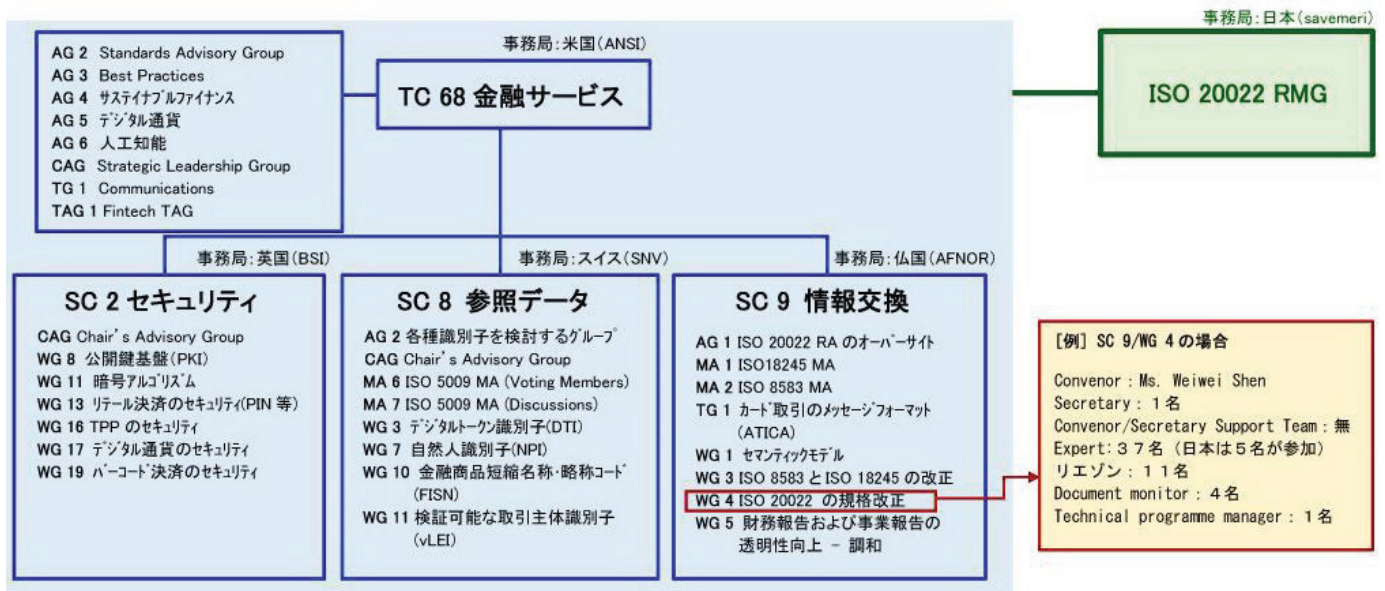
に取り組み、作業達成を目指します。専門家（Expert）は、各国審議議団体（National Standards Body：NSB）の見解を認識していることが望ましいとされていますが、各人の立場で行動することが求められています。

このほか、公開済みのISO規格のうち登録・維持管理作業が必要なものは、維持機関（Maintenance Agency：MA）、登録機関（Registration Authority：RA）等が設置されています。また、ISO/TC 68/SC 9所管のISO規格「ISO 20022」（金融通信メッセージの国際規格）では、各評価グループ等を取りまとめ、登録手続き全般を審査・管理する組織として登録管理グループ（Registration Management Group：RMG）が設置されています。

ISO/TC 68（金融サービス）の審議体制、ISO規格「ISO 20022」（ISO/TC 68/SC 9所管）の登録管理グループ

——— 日本は経済産業省の審議会「日本産業標準調査会（JISC）」が加盟。TC 68の国内審議団体（事務局）はJISCから委任を受けた日本銀行決済機構局が担当。下図の情報は2024年3月時点。

詳細は最新版の  [ISO/TC 68（金融サービス）の審議体制と国内リエゾン関係、ISO 20022 RMG \[PDF 691KB\]](#) をご参照ください。



 [ISO TC 68 Financial services](#)（外部サイトへのリンク）

 [ISO TC 68 Financial services 「Registration Authorities vs. Maintenance Agencies（維持機関＜Maintenance Agency：MA＞と登録機関＜Registration Authority：RA＞の違い）」](#)（外部サイトへのリンク）

 [ISO 20022](#)（外部サイトへのリンク）

1. ISO/TC 68の組織・概要

 [日本産業標準調査会（JISC）](#)（外部サイトへのリンク）

 [日本規格協会（JSA）ISO/IEC TC一覧及び国内審議団体連絡先情報](#)（外部サイトへのリンク）

 [日本規格協会「さあ始めよう ツールキット — ISO委員会マネージャー向け \[2020年版\]（英和対訳）」](#) [\[PDF\]](#)（外部サイトへのリンク）

リエゾン体制

ISO/TC 68およびSC 2・SC 8・SC 9の各レベルで、関連性の高いTC等との作業の重複を排除しつつ国際標準の整備を整合的かつ円滑に進めるために、リエゾン・オフィサー（Liaison Officer）を相互に派遣し、連携を図っています。

現在、ISO/TC 68国内委員会では、ISO/TC 307（Blockchain and Distributed Ledger Technologies）やISO/IEC JTC 1傘下の以下のSCとリエゾン関係にあります。

（1）TC 307（Blockchain and Distributed Ledger Technologies）

ブロックチェーンや電子分散台帳技術の標準化を所掌。

国内審議団体の事務局は、一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）。

（2）JTC 1/SC 17（Cards and Security Devices for Personal Identification）

カード及び個人識別を対象とし、各種カード及び個人識別用セキュリティデバイスの要素技術から利用システム（クレジットカード・IC旅券・運転免許証等）までを含む国際互換性に関する標準化と登録管理を所掌。

国内審議団体の事務局は、一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）。

（3）JTC 1/SC 27（Information security, cybersecurity and privacy protection）

他の複数のTCやSCにおいて共通的に利用可能な情報セキュリティの要素、管理システム、およびサービス技術の標準化を所掌。

国内審議団体の事務局は、一般社団法人情報処理学会（IPSJ）。

(4) JTC 1/SC 37 (Biometrics)

汎用的な生体認証技術に関する標準化を所掌。
国内審議団体の事務局は、一般社団法人情報処理学会（IPSJ）。

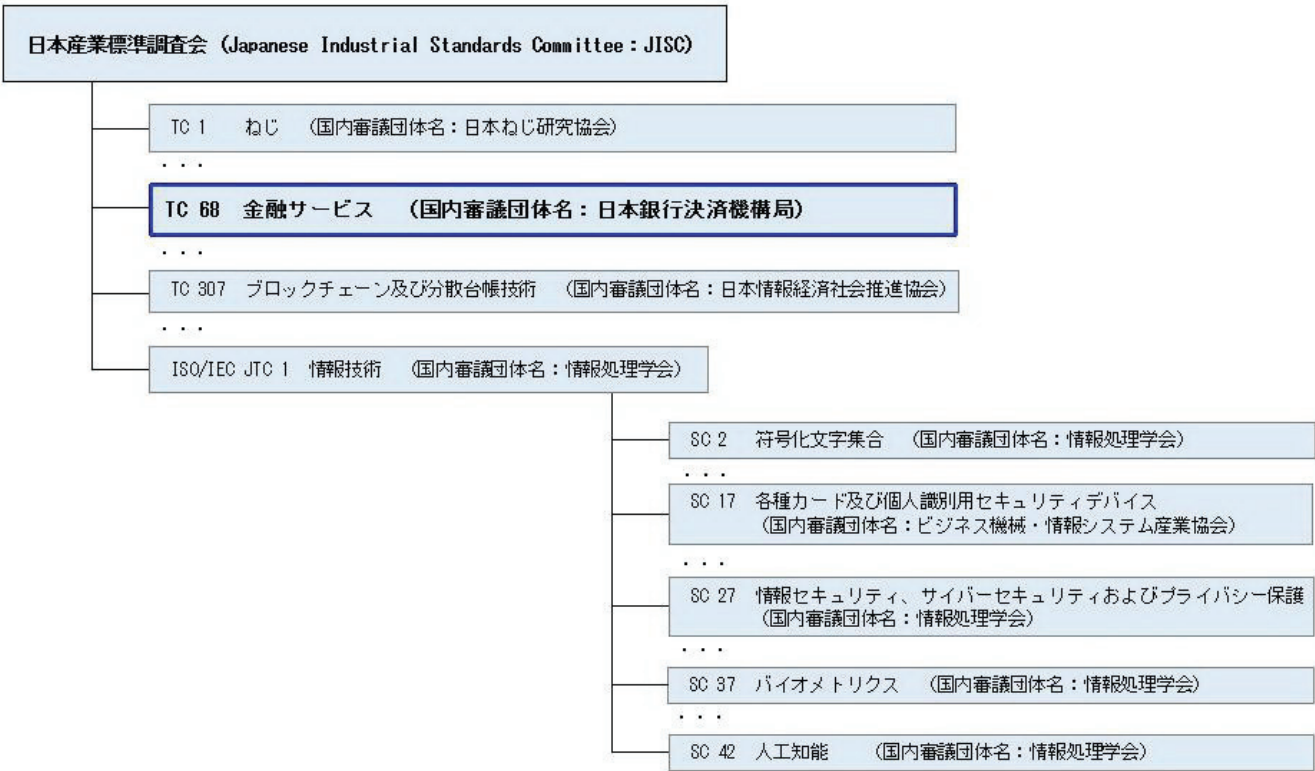
ISO/TC 68国内委員会の組織・運営体制

各TCの国内審議体制

日本では経済産業省（産業技術環境局基準認証ユニット）に設置されている審議会である日本産業標準調査会（Japanese Industrial Standards Committee：JISC）がISOの会員団体（Member Body：MB）となっており、各TCの国内審議団体（National Standards Body：NSB）は、日本産業標準調査会（JISC）から委任を受けた団体・組織がそれぞれ担当しています。ISO/TC 68国内審議団体（会議体名称を「ISO/TC 68国内委員会」という）は、日本銀行決済機構局が事務局を担当しています（決済システム課情報技術標準化グループ）。

各TCの国内審議体制

—— 下図の情報は2024年3月時点。



1. ISO/TC 68の組織・概要

詳細は最新版の  [日本規格協会（JSA）ISO/IEC TC一覧及び国内審議団体連絡先情報](#)（外部サイトへのリンク）をご覧ください。

ISO/TC 68国内委員会の組織・運営体制

ISO/TC 68国内委員会は、ISO/TC 68所管の金融サービス分野における国際標準化について国内での審議および情報共有等を行うことを目的としています（運営規約第2条）。本委員会の構成は、金融業界、金融関連の産業界、中央省庁、および学識経験者からの適切な人材若干名による委員のほか、リエゾン、オブザーバーをもって構成し、委員長1名、事務局長1名をおいています（同第3条）。

委員は本委員会の審議に参加し議決権を有します（同第4条）。本委員会の総会は、議長を務める委員長が招集して年2回程度開催すること、本委員会の審議はこの総会において行うことを原則としており、議事については議事録を作成します（同第5条）。

本委員会の運営面では、ISO/TC 68の審議体制と同じ組織構成（ミラー）で「国内作業部会」を設置し（同第6条1）、その対象となるWG等に関する事項（国際投票の投票案を含む）について審議を行うこととしています（同第6条2）。委員は国内作業部会のいずれかに参加いただきます（同第4条2）。また、国内作業部会にはその対象となるWG等に本委員会から選任された専門家（Expert：当委員会では国内メンバーとの対比で「国際エキスパート」という）を所属させることとしています（同第6条3）。国内作業部会は、その対象となるWG等が解散した場合または所属する国際エキスパートが不在となった場合には解散することとしています（同第6条5）。なお、国内作業部会が未設置のWG等については、事務局がその対象となるWG等に関する事項（国際投票の投票案を含む）の審議を担当します（同第9条3）。

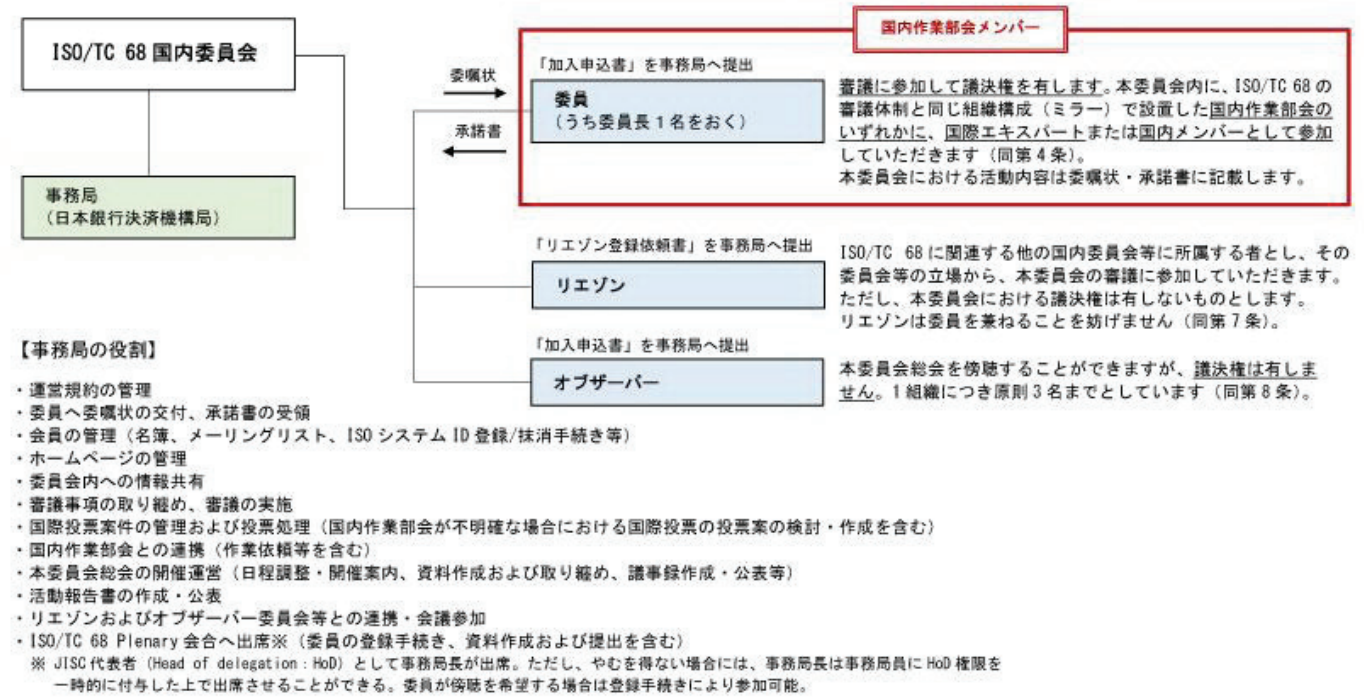
国内作業部会の運営では、エキスパートの中から取り纏め役1名をおいています。各国内作業部会の取り纏め役は、その対象となるWG等に関する事項（国際投票の投票案を含む）について、国内作業部会メンバー（国際エキスパート+国内メンバーで構成：委員に該当）の意見調整や事務局との連絡役を担当します。また、本委員会総会においては総会資料のアップデート作業に取り組み、総会席上での報告を担当します。国際エキスパートには、対象となるWG等の文書や会合予定等へのアクセス権を有するISO Portalおよび日本産業調査会（JISC）が提供するISO/TC 68ミラーサイト

（ISOlutions）へのアクセス権限を付与します。国内メンバーにはISO/TC 68ミラーサイト（ISOlutions）へのアクセス権を付与します。これらのID登録／抹消手続きは、事務局が担当します（同第9条3）。

ISO/TC 68国内委員会の組織構成と各役割

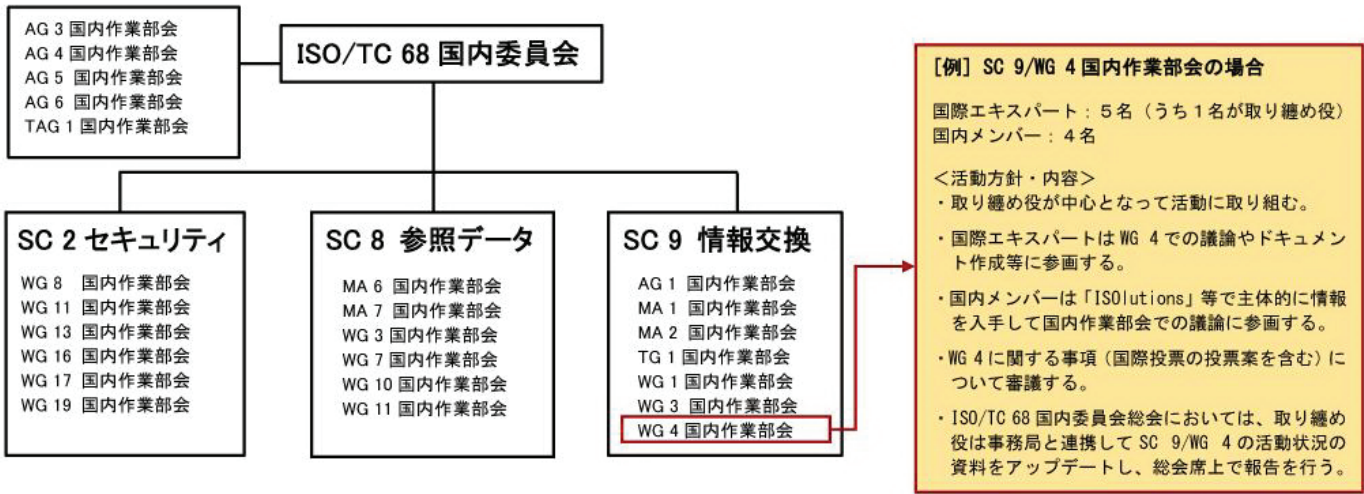
1. ISO/TC 68の組織・概要

—— 下図の情報は2024年3月時点。



ISO/TC 68国内委員会における各国内作業部会

—— 下図の情報は2024年3月時点。



[日本規格協会 \(JSA\) ISO/IECの規定・政策等 ISO編【1】 国際標準化活動参加のための手引き及びQ&A \(外部サイトへのリンク\)](#)

[日本規格協会 \(JSA\) ISolutions利用登録 \(外部サイトへのリンク\)](#)

規約



[ISO/TC 68国内委員会運営規約 \[PDF 97KB\]](#)

会員一覧（所属先の組織名称のみ掲載）



[ISO/TC 68国内委員会（2024年3月現在） \[PDF 457KB\]](#)

随時メンバーを募集中です。ISO/TC 68国内委員会運営規約第3条に該当し国際標準化活動への参画を希望される方は[事務局](#)までご照会ください。

沿革



[ISO/TC 68および下部組織の各SCの変遷図 \[PDF 207KB\]](#)

1983年 9月	日本工業標準調査会（JISC、現在は日本産業標準調査会に名称変更）がISO/TC 68に対して、議決権のないO（Observer）メンバーとしての会員資格を取得
12月	JISCがISO/TC 68および下部組織のSC 1・SC 2・SC 5に対して、議決権のあるP（Participating）メンバーとしての会員資格を取得（SC 1：Bank documents and access devices、SC 2：Operation and procedures、SC 5：Information Interchange）
1984年 5月	ISO/TC 68の下部組織のSC 2およびSC 5のWGレベルの国際会合にPメンバーとして初参加
1985年 1月	第1回ICカード懇談会（ISO/TC 68/SC 2-7国内検討委員会のSC 7に相当）を開催
8月	第1回MAC（Message Authentication Code）懇談会（ISO/TC 68/SC 2-7国内検討委員会のSC 2に相当）を開催
1986年 6月	JISCがISO/TC 68/SC 6のPメンバーとしての会員資格を取得（SC 6：Financial Transaction Cards, Related Media and Operations）

1. ISO/TC 68の組織・概要

12月	第1回ICカード関連連絡調整委員会（現在のISO/TC 68 国内委員会に相当）を開催
1991年 4月	ISO/TC 68/SC 2年次総会 東京会合開催（ホスト：日本銀行）
1999年10月	ISO/TC 68/SC 4年次総会 東京会合開催（ホスト：日本証券業協会）
2000年 6月	ISO/TC 68国内委員会ホームページ開設
2004年 6月	ISO/TC 68/SC 7が新設（SC 7：Core Banking、銀行業務のメッセージコードを所掌）
	ISO 20022 RMG（Registration Management Group）をISO/TC 68/SC 4からTC 68へ移管
9月	ISO/TC 68/SC 2およびSC 6年次総会 東京会合開催（ホスト：日本銀行）
2005年 6月	ISO/TC 68国内委員会運営規約およびISO/TC 68/SC 2・SC 6・SC 7国内検討委員会規則を制定
2006年 5月	ISO/TC 68国内委員長の交代（学習院大学 南部教授から横浜国立大学 松本教授に交代）
2007年 6月	ISO/TC 68/SC 6廃止に伴い、国内検討委員会規則を改正
2010年 5月	ISO/TC 68年次総会、TC 68/SC 4およびSC 7年次総会、ISO 20022 RMG定例会合の東京会合開催（ホスト：日本銀行、日本証券業協会）
12月	ISO/TC 68国内委員会ホームページ更改
2015年 9月	ISO/TC 68/SC 2・SC 4・SC 7国内検討委員会廃止に伴い、ISO/TC 68/SC 2・SC 4・SC 7国内検討委員会規則を廃止および

1. ISO/TC 68の組織・概要

	ISO/TC 68国内委員会運営規約を改正
12月	ISO 20022 RMG定例会合 東京会合開催（ホスト：日本銀行）
2017年 4月	ISO/TC 68/SC 8（金融サービスにおける参照データ）およびSC 9（金融サービスにおける情報交換）が新設
11月	ISO/TC 68/SC 4およびSC 7が廃止
2019年 7月	ISO/TC 68国内委員会運営規約を全面改正
2020年 7月	ISO/TC 68国内委員会運営規約を一部改正し、ISO/TC 68国内委員会事務局を「金融研究所」から「決済機構局」へ移管
10月	ISO/TC 68国内委員会ホームページを「日本銀行金融研究所ホームページ」から「日本銀行ホームページ」へ移設
2021年 6月	ISO/TC 68国内委員会運営規約を一部改正し、ISO 20022 RMG傘下のグループに対応する国内作業部会を廃止
2022年10月	ISO/TC 68国内委員会ホームページのコンテンツを刷新
2022年12月	ISO/TC 68国内委員会運営規約を一部改正（第9条4）

2. ISO/TC 68の審議体制と国内リエゾン関係、ISO 20022 RMG

ISO/TC 68(金融サービス)の審議体制と国内リエゾン関係、ISO 20022 RMG

1. ISO/TC 68(金融サービス)の国際審議体制と国内審議体制

March 2024

ISO(International Organization for Standardization: 国際標準化機構) — 国際的な標準化活動を行う非政府組織であり、本部はジュネーブ。「ISO Directives」に基づき標準化活動を行っている。 — MB(Member Body<会員団体>)として、各国1機関が会員資格を認められており、日本からはJISC(日本産業標準調査会)が加入している。 — ISOには産業分野別に現在300程度の専門委員会(Technical Committee: TC)等があり、68番目のTC68が金融サービスの標準化を担当する専門委員会である。 TC68の下には、分科委員会(Sub-Committee: SC)、またその下に作業グループ(Working Group: WG)、研究グループ(Study Group: SG)等が設置されており、各担当分野において国際規格立案の審議が行われている。		
国内審議体制 ISO/TC 68国内委員会 委員長: 横浜国立大学・松本勉先生 事務局: 日本銀行決済機構局 日本からの代表者: 西口 ISO/TC 68投票者: 西口、清水 委員 いずれかの国内作業部会(国際審議体制下に設置されている作業グループやアドホックグループ等)に対応した国内組織)に参加 ISO/TC 68国際投票に関する審議を行う Expert 委員活動に加えて、国際審議体制下に設置されている作業グループやアドホックグループ等に日本の代表として参加		
国際審議体制		幹事国(Secretariat)等
TC 68 Financial Services 金融サービス 「金融サービス」を対象とする専門委員会であり、金融業務に利用される情報通信技術、情報セキュリティ技術等に関する国際標準化を担当。		Secretariat: ANSI (米国規格協会) Chairperson (until end 2024): Mr. James Northey(米国)
SC 2 Financial Services, Security 金融サービス向けセキュリティ CAG Chair's Advisory Group WG 8 Public Key Infrastructure Management for Financial Services 公開鍵基盤 (PKI) WG11 Encryption Algorithms Used in Banking Applications 金融サービスで用いる暗号アルゴリズム WG13 Security in Retail Banking 金融リテール取引におけるセキュリティ(暗証番号・生体認証など) WG16 Security Aspects Related to Third Party Payment Service Providers (TPP's) FinTech業者のセキュリティ要件 WG17 Security Aspects of Digital Currencies デジタル通貨のセキュリティ要件 WG19 Security Aspects of Code-scanning Payment バーコード決済(QRコード等を含む)のセキュリティ要件		Secretariat: BSI(英国規格協会) Chairperson (until end 2027): Ms. Lauren Jones(英国) Convenor: 未定 Convenor: Mr. Tony Seymour Convenor: Mr. Richard Kisley Convenor: Mr. Kim Wagner Convenor: M Lorenzo Gaston Guirao Convenor: Mr. Edward Scheidt Convenor: Mrs. Min ZUO
SC 8 Reference Data for Financial Services 金融サービスにおける参照データ AG 2 Instrument Identifier Advisory Group 各種識別子を検討するグループ CAG Chair's Advisory Group MA ISO 20275 Maintenance Agency (Voting Members) MA 1 ISO 4217 Maintenance Agency (Voting Members) MA 2 ISO 4217 Maintenance Agency (Discussions) MA 3 ISO 20275 Maintenance Agency (Discussions) MA 4 ISO 10962 Maintenance Agency (Voting members) MA 5 ISO 10962 Maintenance Agency (Discussions) MA 6 ISO 5009 Maintenance Agency (Voting members) MA 7 ISO 5009 Maintenance Agency (Discussions) WG 3 Digital Token Identifier - DT1 デジタルトークン識別子 WG 7 Natural Persons Identifier NPI(自然人ID) WG 10 Revision of the FSN 証券金融商品の短縮名称・略称コードの改正 WG 11 Verifiable LEIs (vLEIs) 検証可能な取引主体識別子		Secretariat: SNV(スイス規格協会) Chairperson (until end 2024): Mr. Dominique Tanner(スイス) Convenor: Mr. Robert Stowsky Convenor: Mr. Dominique Tanner Convenor: Mr. Ricco Dun Convenor: 未定 Convenor: 未定 Convenor: Mr. Ricco Dun Convenor: 未定 Convenor: Mr. Ricco Dun Convenor: 未定 Convenor: Mr. Ryan Pierce Convenor: Mr. Patrick Curry Convenor: Mr. Uwe Meyer Convenor: Ms. Karla McKenna
SC 9 Information Exchange for Financial Services 金融サービスにおける情報交換 AG 1 ISO 20022 RA Oversight Group ISO 20022 RAを監督するグループ MA 1 MA ISO 18245 Retail financial services - Merchant category codes ISO 18245(クレジットカードの加盟店業種コード)の維持管理機関 MA 2 ISO 8583 Financial-transaction-card-originated messages - Interchange message specifications ISO 8583(カード取引メッセージ)の維持管理機関		Secretariat: AFNOR(フランス規格協会) Chairperson (until end 2025): M Pierre Epailard(フランス) Convenor: M Pierre Epailard Convenor: M Pierre Epailard Convenor: Ms. Janet Busch

2. ISO/TC 68の審議体制と国内リエゾン関係、ISO 20022 RMG

		TG 1	Cards Standards ATICA(カード決済のISO 20022形式)	Convenor: Mr. Douglas Frantz
		WG 1	ISO 20022 Semantic Models ISO 20022におけるセマンティック・ウェブの活用	Convenor: Ms. Lisa Taikitsadaporn
		WG 3	Revision of ISO 8583 and ISO 18245 ISO 8583(カード取引メッセージ)およびISO 18245(クレジットカードの加盟店業種コード)の規格改正	Convenor: Mr. Douglas Frantz
		WG 4	ISO 20022 Revision ISO 20022(金融サービスの通信メッセージ)の規格改正	Convenor: Ms. Weiwei Shen
		WG 5	Improving transparency in financial and business reporting - Harmonization 財務報告および事業報告の透明性向上 - 調和	Convenor: Mr. Michal Piechocki
AG 2 Standards Advisory Group		TC68関連の国際規格全般について、実務的な課題を検討するうえでの金融当局・中央銀行とのコンタクト・ポイントとして機能するグループ		Convenor : Ms. Karla McKenna
AG 3 Best Practices		TC68に存在する複数の類似している標準を、より効果的に利活用できるよう統合などの改善を検討するグループ		Convenor : Mr. Jason Polis
AG 4 Sustainable Finance Advisory Group		サステイナブルファイナンスを検討するグループ		Convenor : Ms. Rebecca Healey
AG 5 Digital Currencies		デジタル通貨を検討するグループ		Convenor: Mr. Gerard Hartsink
AG 6 Artificial Intelligence		人工知能(AI)を検討するグループ		Convenor: Ms. Gabriella Kusz
CAG Strategic Leadership Group		TC68議長を補佐する目的で作成されたグループ(TC68、SC2、SC8、SC9の各議長と事務局およびISO 20022 RMG ConvenorとVice Convenorが参加している)		Convenor : Mr. James Northey
TG 1 Communications		TC68関連のニュースレターの作成等、TC68が所管する国際規格の開発・利用に関する情宣活動を担うグループ		Convenor: Mr. Paul D'Amico
TAG 1 Fintech Technical Advisory Group		FinTech関連主体との連携を通じて、国際標準の活用や新たな標準化ニーズについて検討を行うことを目的とするグループ		Convenor: 未定

2. ISO/TC 68(金融サービス)の国内リエゾン関係

ISO/TC68の国際標準化領域は、他の標準化機関の領域とオーバーラップしている部分があるため、国際規格を整合的に、かつ重複を避けて円滑に進めるには、他の標準化機関との連携が重要となる。ISO等の国際標準化機関では、「リエゾン(liaison、連携役)」と呼ばれる委員を相互の委員会に派遣し、連携を図っている。このリエゾン関係は国際レベルでも国内レベルでも実施されている。		
TC307 Blockchain and Distributed Ledger Technologies	ブロックチェーンと電子分散台帳技術に係る専門委員会 【国内リエゾン】 TC68→TC307:TC68国内委員会事務局長 西口、同事務局 清水 TC307→TC68:TC307国内委員長 楠氏、同委員 鈴木氏	ISO/TC307国内委員会 事務局:(一財)日本情報経済社会推進協会 委員長:デジタル庁 楠氏
ISO/IEC JTC1*		国内審議体制
SC17 Cards and Security Devices for Personal Identification	カード及び個人識別を対象とし、各種カード及び個人識別用セキュリティデバイスの要素技術から利用システム(クレジットカード・IC旅券・運転免許証等)までを含む国際互換性に関する標準化と登録管理を担当。 【国内リエゾン】 TC68→SC17:TC68国内委員会事務局長 西口、同事務局 清水 SC17→TC68:SC17国内委員長 神氏	SC17国内委員会 事務局:(一社)ビジネス機械・情報システム産業協会 委員長:神氏
SC27 IT Security Techniques	他の複数のTCやSCにおいて共通的に利用可能な情報セキュリティの要素、管理システム、およびサービス技術の標準化を担当。 【国内リエゾン】 TC68→SC27:TC68国内委員会事務局長 西口(代理:同事務局 清水) SC27→TC68:SC27専門委員長 近澤氏	SC27専門委員会 事務局:(一社)情報処理学会 委員長:三菱電機(株) 近澤氏
SC37 Biometrics	汎用的なバイオメトリック技術に関する標準化を担当。 【国内リエゾン】 TC68→SC37:TC68国内委員会事務局長 西口(代理:同事務局 清水) SC37→TC68:SC37専門委員長 坂本氏	SC37専門委員会 事務局:(一社)情報処理学会 委員長:日本電気(株) 坂本氏

*JTC1:Joint Technical Committee 1(合同専門委員会)。情報技術革新の進展に伴い、コンピュータ技術やネットワーク技術の双方に跨る「情報技術分野」の標準化推進ニーズが増大したためISOとIEC(International Electrotechnical Commission、国際電気標準会議)は1987年にJTC1を設立し、この分野の国際標準化を担当させている。

3. ISO規格「ISO 20022」(ISO/TC 68/SC 9所管)の登録管理グループ

ISO 20022 RMG (Registration Management Group)		Secretariat: savemeri(日本) Convenor: 田貝 征之氏(日本) Vice convenor: Mr. Martin Walder (スイス) Vice-Convenor: Mr. Richard Robinson (米国)
SEGs (Standards Evaluation Groups)	Payments	Convenor: Mr. Peter Hoogervorst
	Securities	Convenor: Mrs. Christine Strandberg
	Derivatives	Convenor: Mr. Harry McAllister
	FX (Foreign Exchange)	Convenor: Mr. Zaiyue Xu
	Trade Finance	Convenor: Mr. Nick Pachnev
	Cards and Related Retail Financial Services	Convenor: Mr. William Vanobberghen
TSG (The Technical Support Group)		Convenor: Mr. Martin Walder
RTPG Real-Time Payments Group		――
CSH (Cross SEG Harmonisation Group)		――



- TC

Standards by ISO/TC 68

Financial services

Subcommittee 	Subcommittee Title	Published standards	Standards under development
ISO/TC 68/SC 2	Financial Services, security	18	9
ISO/TC 68/SC 8	Reference data for financial services	21	5
ISO/TC 68/SC 9	Information exchange for financial services	35	12

Filter : ☐ Published ☒ Under development ☐ Withdrawn ☐ Deleted

Search in the

Standard and/or project under the direct responsibility of ISO/TC 68 Secretariat ⁽⁰⁾ 

Stage ICS

No matching records found. Please try changing the filter settings.



- TC ← ISO/TC 68

Standards by ISO/TC 68/SC 2

Financial Services, security

Filter : ☐ Published ☒ Under development ☐ Withdrawn ☐ Deleted

Search in the

Standard and/or project under the direct responsibility of ISO/TC 68/SC 2 Secretariat (18) ↑	Stage	ICS
ISO 5158:2023 Mobile financial services — Customer identification guidelines	60.60	03.060
ISO 9564-1:2017 Financial services — Personal Identification Number (PIN) management and security — Part 1: Basic principles and requirements for PINs in card-based systems	90.93	35.240.40
ISO 9564-2:2014 Financial services — Personal Identification Number (PIN) management and security — Part 2: Approved algorithms for PIN encipherment	90.92	35.240.40
ISO 9564-4:2016 Financial services — Personal Identification Number (PIN) management and security — Part 4: Requirements for PIN handling in eCommerce for Payment Transactions	90.93	35.240.40
ISO 11568:2023 Financial services — Key management (retail)	60.60	35.240.40
ISO 13491-1:2016 Financial services — Secure cryptographic devices (retail) — Part 1: Concepts, requirements and evaluation methods	90.92	35.240.40
ISO 13491-2:2023 Financial services — Secure cryptographic devices (retail) — Part 2: Security compliance checklists for devices used in financial transactions	60.60	35.240.40
ISO 13492:2019 Financial services — Key-management-related data element — Application and usage of ISO 8583-1 data elements for encryption	60.60	35.240.40
ISO/TR 14742:2010 Financial services — Recommendations on cryptographic algorithms and their use	90.92	03.060 35.240.40
ISO 16609:2022 Financial services — Requirements for message authentication using symmetric techniques	60.60	35.240.40
ISO/TR 19038:2005 Banking and related financial services — Triple DEA — Modes of operation — Implementation guidelines	90.93	35.240.40
ISO 19092:2023 Financial services — Biometrics — Security framework	60.60	03.060 35.240.40

3. ISO/TC 68の標準一覧

Standard and/or project under the direct responsibility of ISO/TC 68/SC 2 Secretariat ⁽¹⁸⁾ ↑	Stage	ICS
ISO 20038:2017 Banking and related financial services — Key wrap using AES	90.92	35.240.40
ISO 21188:2018 Public key infrastructure for financial services — Practices and policy framework	90.93	35.240.40
ISO/TR 21941:2017 Financial services — Third-party payment service providers	60.60	03.060
ISO 23195:2021 Security objectives of information systems of third-party payment services	60.60	03.060 35.240.40
ISO/TS 23526:2023 Security aspects for digital currencies	60.60	35.240.40
ISO/TR 24374:2023 Financial services — Security information for PKI in blockchain and DLT implementations	60.60	35.030 35.240.40



- TC ← ISO/TC 68

Standards by ISO/TC 68/SC 8

Reference data for financial services

Filter : ☐ Published ☒ Under development ☐ Withdrawn ☐ Deleted Search in the

Standard and/or project under the direct responsibility of ISO/TC 68/SC 8 Secretariat (21) ↑	Stage	ICS
ISO 4217:2015 Codes for the representation of currencies	90.93	03.060 01140.30
ISO 4914:2021 Financial services — Unique product identifier (UPI)	60.60	03.060
ISO 5009:2022 Financial services — Official organizational roles — Scheme for official organizational roles	60.60	03.060
ISO/TR 6083:2022 Best practices for an internal BPoS handbook	60.60	03.060
ISO 6166:2021 Financial services — International securities identification number (ISIN)	60.60	03.060
ISO 9019:1995 Securities — Numbering of certificates	90.93	03.060
ISO 9362:2022 Banking — Banking telecommunication messages — Business identifier code (BIC)	60.60	03.060
ISO 10383:2012 Securities and related financial instruments — Codes for exchanges and market identification (MIC)	90.93	03.060
ISO 10962:2021 Securities and related financial instruments — Classification of financial instruments (CFI) code	60.60	03.060
ISO 13616-1:2020 Financial services — International bank account number (IBAN) — Part 1: Structure of the IBAN	60.60	03.060
ISO 13616-2:2020 Financial services — International bank account number (IBAN) — Part 2: Role and responsibilities of the Registration Authority	60.60	03.060
ISO 17442-1:2020 Financial services — Legal entity identifier (LEI) — Part 1: Assignment	60.60	03.060
ISO 17442-2:2020 Financial services — Legal entity identifier (LEI) — Part 2: Application in digital certificates	60.60	03.060
ISO 18774:2015 Securities and related financial instruments — Financial Instrument Short Name (FISN)	90.92	03.060

3. ISO/TC 68の標準一覧

Standard and/or project under the direct responsibility of ISO/TC 68/SC 8 Secretariat ⁽²¹⁾ ↑	Stage	ICS
ISO 20275:2017 Financial services — Entity legal forms (ELF)	90.93	03.060
ISO 21586:2020 Reference data for financial services — Specification for the description of banking products or services (BPoS)	60.60	03.060
ISO/TR 21797:2019 Reference data for financial services — Overview of identification of financial instruments	60.60	03.060
ISO 23897:2020 Financial services — Unique transaction identifier (UTI)	60.60	03.060
ISO 24165-1:2021 Digital token identifier (DTI) — Registration, assignment and structure — Part 1: Method for registration and assignment	90.92	03.060
ISO 24165-2:2021 Digital token identifier (DTI) — Registration, assignment and structure — Part 2: Data elements for registration	90.92	03.060
ISO 24366:2021 Financial services — Natural person identifier (NPI)	60.60	03.060

3. ISO/TC 68の標準一覧



日本語 English 日本語 English

Standards Sectors About ISO News Taking part Store Search



– TC ← ISO/TC 68

Standards by ISO/TC 68/SC 9

Information exchange for financial services

Filter : ☐ Published ☒ Under development ☐ Withdrawn ☐ Deleted

Search in the

Standard and/or project under the direct responsibility of ISO/TC 68/SC 9 Secretariat (35) ↑

Stage

ICS

ISO 1004-1:2013 Information processing — Magnetic ink character recognition — Part 1: Print specifications for E13B	90.60	35.240.40
ISO 1004-2:2013 Information processing — Magnetic ink character recognition — Part 2: Print specifications for CMC7	90.60	35.240.40
ISO 3531-1:2022 Financial services — Financial information eXchange session layer — Part 1: FIX tagvalue encoding	60.60	03.060
ISO 3531-2:2022 Financial services — Financial information eXchange session layer — Part 2: FIX session layer	60.60	03.060
ISO 3531-3:2022 Financial services — Financial information eXchange session layer — Part 3: FIX session layer test cases	60.60	03.060
ISO 5116-1:2021 Improving transparency in financial and business reporting — Harmonization topics — Part 1: European data point methodology for supervisory reporting	90.92	03.060
ISO 5116-2:2021 Improving transparency in financial and business reporting — Harmonization topics — Part 2: Guidelines for data point modelling	90.92	03.060
ISO 5116-3:2021 Improving transparency in financial and business reporting — Harmonization topics — Part 3: Mapping between DPM and MDM	90.92	03.060
ISO/TR 7340:2023 Reference data distribution in financial services	60.60	03.060
ISO 8532:1995 Securities — Format for transmission of certificate numbers	90.93	03.060
ISO 8583:2023 Financial-transaction-card-originated messages — Interchange message specifications	60.60	35.240.15
ISO 9144:1991 Securities — Optical character recognition line — Position and structure	90.93	35.240.40

3. ISO/TC 68の標準一覧

Standard and/or project under the direct responsibility of ISO/TC 68/SC 9 Secretariat ⁽³⁵⁾ ↑	Stage	ICS
<u>ISO 11649:2009</u> Financial services — Core banking — Structured creditor reference to remittance information	<u>90.93</u>	<u>03.060</u>
<u>ISO 12812-1:2017</u> Core banking — Mobile financial services — Part 1: General framework	<u>90.93</u>	<u>03.060</u>
<u>ISO/TS 12812-2:2017</u> Core banking — Mobile financial services — Part 2: Security and data protection for mobile financial services	<u>90.60</u>	<u>03.060</u>
<u>ISO/TS 12812-3:2017</u> Core banking — Mobile financial services — Part 3: Financial application lifecycle management	<u>90.60</u>	<u>03.060</u>
<u>ISO/TS 12812-4:2017</u> Core banking — Mobile financial services — Part 4: Mobile payments-to-persons	<u>90.60</u>	<u>03.060</u>
<u>ISO/TS 12812-5:2017</u> Core banking — Mobile financial services — Part 5: Mobile payments to businesses	<u>90.60</u>	<u>03.060</u>
<u>ISO 15022-1:1999</u> Securities — Scheme for messages (Data Field Dictionary) — Part 1: Data field and message design rules and guidelines	<u>90.93</u>	<u>03.060</u>
<u>ISO 15022-1:1999/Cor 1:1999</u> Securities — Scheme for messages (Data Field Dictionary) — Part 1: Data field and message design rules and guidelines — Technical Corrigendum 1	<u>60.60</u>	<u>03.060</u>
<u>ISO 15022-2:1999</u> Securities — Scheme for messages (Data Field Dictionary) — Part 2: Maintenance of the Data Field Dictionary and Catalogue of Messages	<u>90.93</u>	<u>03.060</u>
<u>ISO 15022-2:1999/Cor 1:1999</u> Securities — Scheme for messages (Data Field Dictionary) — Part 2: Maintenance of the Data Field Dictionary and Catalogue of Messages — Technical Corrigendum 1	<u>60.60</u>	<u>03.060</u>
<u>ISO 18245:2023</u> Retail financial services — Merchant category codes	<u>60.60</u>	<u>03.060</u>
<u>ISO 20022-1:2013</u> Financial services — Universal financial industry message scheme — Part 1: Metamodel	<u>90.92</u>	<u>03.060</u>
<u>ISO 20022-2:2013</u> Financial services — Universal financial industry message scheme — Part 2: UML profile	<u>90.92</u>	<u>03.060</u>
<u>ISO 20022-3:2013</u> Financial services — Universal financial industry message scheme — Part 3: Modelling	<u>90.92</u>	<u>03.060</u>
<u>ISO 20022-4:2013</u> Financial services — Universal financial industry message scheme — Part 4: XML Schema generation	<u>90.92</u>	<u>03.060</u>
<u>ISO 20022-5:2013</u> Financial services — Universal financial industry message scheme — Part 5: Reverse engineering	<u>90.92</u>	<u>03.060</u>
<u>ISO 20022-6:2013</u> Financial services — Universal financial industry message scheme — Part 6: Message transport characteristics	<u>90.93</u>	<u>03.060</u>
<u>ISO 20022-7:2013</u> Financial services — Universal financial industry message scheme — Part 7: Registration	<u>90.92</u>	<u>03.060</u>
<u>ISO 20022-8:2013</u> Financial services — Universal financial industry message scheme — Part 8: ASN.1 generation	<u>90.92</u>	<u>03.060</u>

3. ISO/TC 68の標準一覧

Standard and/or project under the direct responsibility of ISO/TC 68/SC 9 Secretariat ⁽³⁵⁾ ↑	Stage	ICS
ISO/TR 22126-3:2023 Financial services — Semantic technology — Part 3: Semantic enrichment of the ISO 20022 conceptual model	60.60	03.060 35.240.40
ISO/TR 22126-5:2022 Financial services — Semantic technology — Part 5: Mapping from FIX Orchestra to the common model	60.60	03.060 35.240.40
ISO 22307:2008 Financial services — Privacy impact assessment	90.93	03.060
ISO/TS 23029:2020 Web-service-based application programming interface (WAPI) in financial services	90.93	35.240.40

4. 投票案件回答状況（2023年度）

(1) TC68

案 件 名			ISO投票期日	結果
1	CIB	TC68 Resolution 23/581 Approval of Lauren Jones (UK) as Chair-Elect of TC68/SC2	2023.4.24	承認 (TC 68/SC 2次期Chair:Lauren Jones氏)
2	CIB	TC68 Resolution 23/582 Approval of TC68 ISO MoU MG Liaison	2023.5.2	承認 (ISO MoU MGのTC68リエゾン代表承認)
3	CIB	TC68 Resolution 23/583 Approval of Best Practices Guidelines	2023.5.27	承認
4	CIB	TC68 Resolution 23/600 Approval of TC68/AG3 Results of Discussions regarding ISO Service Providers - Issues	2023.7.12	承認
5	CIB	TC68 Resolution 24/602 Approval of New Term for TC68 TAG1 FinTech TAG Convenor	2024.3.8	承認 (TC 68/TAG 1 Convenor:William Nichols氏・再任)
6	NP	ISO/NP 24982 Digital currencies — Vocabulary	2024.3.14	承認(WD:20.00) 13カ国がエクスパート参加
7	CIB	TC68 24/600 Resolution to Agree SC2 Chair Term of Office	2024.3.14	承認 (SC 2 Chair:Lauren Jones氏・任期3年)
8	CIB	TC68 Resolution 24/601 Resolution to Approve TC68/AG4 Sustainable Finance Convenor	2024.3.21	承認 (TC 68/AG 4 Convenor: Rebecca Healey氏・再任)
9	CIB	TC68 Resolution 24/603 Approval of Gabriella Kusz (US) as convenor of the new TC68/AG6 Artificial Intelligence	2024.3.21	承認 (TC 68/AG 6 Convenor:Gabriella Kusz氏)

(2) SC2

案 件 名			ISO投票期日	結果
1	CIB	Resolution 2023/632 Request for a 9-month project extension for ISO 5201 ※ISO/DIS 5201(2023/1/6、N2805 Resolutionおよび2023/3/17 N2838 Resolution: 不承認で決定)に関する追加投票	2023.4.5	承認 (プロジェクトを9カ月間延長)
2	CIB	Committee Internal Ballot to 'skip' the Committee Draft stage for ISO/9564-1 ※項番3で追加投票	2023.4.25	承認 ※項番3で追加投票
3	CIB	CIB to request changes to the development of ISO 9564-1 Personal Identification Number (PIN) management and security – Part 1: Basic principles and requirements for PINs in card-based systems ※項番2に関する追加投票	2023.4.28	承認 (ISO 9564-1のプロジェクトを放棄、項番2のCIB投票を取り消し)

4. 投票案件回答状況（2023年度）

(2) SC2

案 件 名			ISO投票期日	結果
4	CD	ISO/CD TS 9546 Guidelines for security framework of information systems of TPP services	2023.6.24	その他 (委員会原案へのコメント有無)
5	NP	ISO/IEC PWI 13133 Security reference model for digital currency hardware wallet	2023.6.28	承認(WD:20.00) 8カ国がエキスパート参加
6	CIB	CIB to request a revision of ISO 9564-2 Personal Identification Number (PIN) management and security – Part 2: Approved algorithms for PIN encipherment	2023.7.6	承認
7	CIB	Resolution 23/639 to disband ISO/TC 68 SC2 WG18	2023.7.21	承認 (SC2/WG18を解散)
8	DIS	ISO/DIS 20038 (Ed 2) Banking and related financial services — Key wrap using AES	2023.8.18	承認
9	SR	ISO 21188:2018 (Ed 2) Public key infrastructure for financial services — Practices and policy framework	2023.9.2	継続 (規格改正なし)
10	CIB	CIB voting request to appoint new ISO 13133 Project Leaders	2023.9.23	承認
11	DIS	ISO/DIS 13491-1 (Ed 4) Financial services — Secure cryptographic devices (retail) — Part 1: Concepts, requirements and evaluation methods	2023.10.26	承認
12	DIS	ISO/DIS 5201.2 Financial services — Code-scanning payment security	2023.12.5	承認
13	CD	ISO/CD 9564-5 Financial services — Personal Identification Number (PIN) management and security — Part 5: Methods for the generation, change, and verification of PINs using 16-byte block ciphers	2024.1.3	その他 (委員会原案へのコメント有無)
14	CD	ISO/CD 9564-2 Financial services — Personal Identification Number (PIN) management and security — Part 2: Approved algorithms for PIN encipherment	2024.2.1	その他 (委員会原案へのコメント有無)
15	DTS	ISO/DTS 9546 Guidelines for security framework of information systems of third-party payment services	2024.2.8	承認
16	CD	ISO/CD 18960 Security controls and implementation guidance for third party payment service providers	2024.3.30	その他 (委員会原案へのコメント有無)

4. 投票案件回答状況（2023年度）

(3) SC8

案 件 名			ISO投票期日	結果
1	CIB	New Advisory Group CFI changes with downstream effect on the FISN, UPI, ISIN, and DTI	2023.5.16	承認 (SC 8/AG 2を新設)
2	CIB	Study Group 5 on Digital Wallet Identification, result & disbandment	2023.5.16	承認 (SC 8/SG 5を解散)
3	CD	ISO/CD 17442-3 Financial services — Legal entity identifier (LEI) — Part 3: verifiable LEIs (vLEIs)	2023.5.23	その他 (委員会原案へのコメント有無)
4	SR	ISO 9019:1995 (Ed 2, vers 5) Securities — Numbering of certificates	2023.6.4	継続 (規格改正なし)
5	SR	ISO 10383:2012 (Ed 3, vers 2) Securities and related financial instruments — Codes for exchanges and market identification (MIC)	2023.6.4	継続 (規格改正なし)
6	CD	ISO/CD 18774 Financial Services — Financial Instrument Short Name (FISN)	2023.10.4	その他 (委員会原案へのコメント有無)
7	CIB	New Secretary of the CFI and the Currency Code MA	2023.12.7	承認
8	CD	ISO/CD TR 24371 Financial services — Natural person identifier (NPI) — Natural Person Identifier lifecycle operation and management	2024.3.2	その他 (委員会原案へのコメント有無)
9	CIB	RA Feedback for plenary meeting	2024.3.15	承認 (ISO 6166,9362,10383,13616,18774,24165の各RA:2023年中の業績評価)
10	CD	ISO/CD 24165-1 Digital token identifier (DTI) — Registration, assignment and structure — Part 1: Method for registration and assignment	2024.3.15	その他 (委員会原案へのコメント有無)
11	CD	ISO/CD 24165-2 Digital token identifier (DTI) — Registration, assignment and structure — Part 2: Data elements for registration	2024.3.15	その他 (委員会原案へのコメント有無)

4. 投票案件回答状況（2023年度）

(4) SC9

案 件 名			ISO投票期日	結果
1	SR	ISO 8532:1995 (Ed 2, vers 5) Securities — Format for transmission of certificate numbers	2023.6.4	継続 (規格改正なし)
2	SR	ISO/TS 23029:2020 Web-service-based application programming interface (WAPI) in financial services	2023.6.4	継続 (規格改正なし)
3	CIB	Resolution 2023-01: Nomination of Mr. Pierre Epailard (France) as convenor of ISO/TC 68/SC 9/AG 1 "ISO 20022 RA Oversight Group"	2023.6.12	承認 (Convenor: Pierre Epailard氏)
4	DIS	ISO/DIS 20937 Financial services — Specification of QR-codes for mobile (instant) credit transfers	2023.7.19	不承認
5	NP	ISO/NP 20022-9 Financial services — Universal financial industry message scheme — Part 9: Syntax Generation Requirements and Rules	2023.8.18	承認 (WD:20.00) 7カ国がエキスパート参加
6	CIB	Call for experts for MA 1, MA 2, WG 5	2023.11.10	その他 〔 MA 1: 3カ国がエキスパート参加 MA 2: 4カ国がエキスパート参加 WG 5: 1カ国がエキスパート参加 〕
7	CIB	Extension Request for ISO 20022-1, 2, 3, 4, 5, 7 and 8	2024.1.10	承認
8	CD	ISO/CD 20022-4 Financial services — Universal financial industry message scheme — Part 4: XML Schema generation	2024.1.11	その他 (委員会原案へのコメント有無)
9	SR	ISO 1004-1:2013 (vers 2) Information processing — Magnetic ink character recognition — Part 1: Print specifications for E13B	2024.3.3	最終決定通知待ち (投票終了後、6カ月以内の審議期間中)
10	SR	ISO 1004-2:2013 (vers 2) Information processing — Magnetic ink character recognition — Part 2: Print specifications for CMC7	2024.3.3	最終決定通知待ち (投票終了後、6カ月以内の審議期間中)
11	SR	ISO/TS 12812-2:2017 (vers 2) Core banking — Mobile financial services — Part 2: Security and data protection for mobile financial services	2024.3.3	最終決定通知待ち (投票終了後、6カ月以内の審議期間中)
12	SR	ISO/TS 12812-3:2017 (vers 2) Core banking — Mobile financial services — Part 3: Financial application lifecycle management	2024.3.3	最終決定通知待ち (投票終了後、6カ月以内の審議期間中)

4. 投票案件回答状況（2023年度）

(4) SC9

案 件 名			ISO投票期日	結 果
13	SR	ISO/TS 12812-4:2017 (vers 2) Core banking — Mobile financial services — Part 4: Mobile payments-to-persons	2024.3.3	最終決定通知待ち (投票終了後、6カ月以内の審議期間中)
14	SR	ISO/TS 12812-5:2017 (vers 2) Core banking — Mobile financial services — Part 5: Mobile payments to businesses	2024.3.3	最終決定通知待ち (投票終了後、6カ月以内の審議期間中)
15	CIB	SC 9 RAs Survey 2024 Feedback on ISO 20022 and 15022 RAs for the May Plenary	2024.3.4	承認 (ISO 20022, 15002の各RA:2023年中の業績評価)
16	CIB	TC68/SC9 Appointment of AG1 Convenor	2024.3.22	承認 (Convenor: Pierre Epailard氏)

委員会の活動

[2023年度](#)

[2022年度](#)

[2021年度](#)

[2020年度](#)

[2019年度](#)

[2018年度](#)

2023年度

ISO/TC68国内委員会議事録

[2023年12月15日開催分](#)

[2023年6月8日開催分](#)

国際会議出席

2024年3月19日	ISO 20022 RMG 臨時会合（Zoom）
2024年2月27日	ISO 20022 RMG 臨時会合（Zoom）
2024年1月23日	ISO 20022 RMG 臨時会合（Zoom）
2023年10月5日	ISO 20022 RMG 定例会合（Zoom）
2023年5月22日～26日	ISO/TC68年次総会およびISO 20022 RMG定例会合 シドニー（オーストラリア/ハイブリッド）

活動報告書

ISO/TC 68国内委員会（2024年3月現在）

—— 組織名のみを五十音順で記載。
委員、リエゾン、オブザーバーについては、「ISO/TC 68国内委員会 運営規約当委員会規約」をご参照ください。

委員長	横浜国立大学大学院環境情報研究院 松本 勉 教授
事務局	日本銀行決済機構局
事務局長	西口 周作

委 員	アクセンチュア
	アジア資本市場協議会
	渥美坂井法律事務所・外国法共同事業
	SBIホールディングス
	XBRL Japan
	NTTデータ
	NTTデータ ルウィープ
	OpenID Foundation
	金融データ活用推進協会
	キャッシュレス推進協議会
	ギークプロジェクト
	GLEIF Japan
	サプライチェーン情報基盤研究会
	産業技術総合研究所
	Cedar
	ジェーシービー
	JPモルガン・チェース銀行 東京支店
	Japan Digital Design
	証券保管振替機構
	新生銀行
	セコム
	全国銀行協会
	全国銀行資金決済ネットワーク
	ソラミツ
	ティージェイ総合研究所
	DataRobot Japan
	TRUST
	TRUSTDOCK
	日鉄ソリューションズ
	日本銀行
	日本カードネットワーク
	日本CF0協会
	日本証券業協会
	野村総合研究所
	日立製作所
	ビットバンク
	Fintech協会
	富士通
	Bloomberg L.P.
	ポラリファイ
	みずほ銀行
	三井住友銀行
	三菱UFJインフォメーションテクノロジー
	三菱UFJ銀行
	三菱UFJニコス
	メルカリ
	LINE Pay

リエゾン	ISO/TC 307国内委員会
	ISO/IEC JTC 1/SC 17国内委員会
	ISO/IEC JTC 1/SC 27専門委員会
	ISO/IEC JTC 1/SC 37専門委員会

オブザーバー	NTTデータ
	オージス総研
	共同印刷
	Ginco
	金融情報システムセンター
	金融庁
	経済産業省
	国立情報学研究所
	さくら情報システム
	SAPジャパン
	ジェーシービー
	シグマクシス
	スイフト・ジャパン
	全国銀行協会
	全国地方銀行協会
	第二地方銀行協会
	東京証券取引所
	東芝インフラシステムズ
	日本銀行
	日本電気
	日本証券業協会
	日本FIX委員会/パイングローブ・リサーチ
	野村総合研究所
	日立製作所
	富士通
	PayPal Pte.Ltd. 東京支店
	みずほ証券
	三井住友銀行
	三菱重工機械システム
	三菱電機インフォメーションシステムズ
	三菱UFJ銀行
	RedCompass Limited